

第1回 八潮市で発生した道路陥没事故に関する原因究明委員会 議事要旨

日時：令和7年3月14日（金）9：00～11：30

場所：八潮新都市建設事務所会議室

（1）大野知事挨拶

今回の事故は、全国的にも大規模な流域下水道の最下流部で起きたものであり、多くの県民の皆様が下水道の使用自粛のご協力をいただくなど、甚大な影響を生じさせました。

大量のインフラが更新時期を迎えることが社会的な課題となっている中で、実際にこのような重大な事案が発生した一方で、県としては国の定め以上の点検を実施してきており、当該箇所における3年前の調査についても、録画ビデオを見返してもこの地点に特化した問題を見つけることができない状況にあり、崩落までのメカニズムに加え、実際の原因を特定することが困難な状況にあります。このようなことを踏まえると、将来における下水道の管理や更新、さらなる事故の未然防止に向けては、事故の原因を徹底的に究明する必要があるとともに、その結果を踏まえ、埼玉県として、再発防止策や今後の流域下水道施設の維持管理の在り方などについて検証を行っていく必要があると考えております。

今回の事故の原因究明を適切に進めていくためには、流域下水道の管理者の立場である県だけではなく、下水道施設の維持管理基準等を所管している立場である国なども委員や事務局としては携わらず、完全に第三者による検証を行う必要があると考え、この原因究明委員会を設置させていただきました。

委員の皆様には、専門的な知識や豊富な経験を生かし、第三者の立場から客観的かつ公正に原因を究明していただき、二度とこのような事故が発生することがないような社会を作り上げていけるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

（2）藤野陽三委員長挨拶

今回の道路陥没に際して被害に遭われた方に、心よりお見舞い申し上げます。今回の事故は流域下水道の最下流部において発生したことで、広範囲にわたる下水道の使用自粛要請など大きな影響が生じました。

事故原因には多数の埋設管や地盤の軟弱さなど多様な要素が関わり、地中インフラに起因する事故原因の究明には第三者による客観的な評価が必要となります。

本委員会における原因究明の結果を踏まえ、再発防止策が講じられることを期待します。

（3）議事概要

1）議題（1）本委員会について

設置趣旨及び規約について事務局より説明を行い、規約の確認を行った。

2）議題（2）陥没事故の概要等について

陥没事故発生当初の陥没の状況について、草加八潮消防組合に説明を求めた。

陥没事故の概要、現地や下水道施設の状況について、埼玉県に説明を求めた。

3）議題（3）議論頂きたい内容について

原因究明の論点案や検討フロー案について事務局より説明を行った。

原因究明を進めていくための論点等について意見交換を行うとともに、今後の検証を

進めるにあたって、どのような資料整理や現地調査が必要かなどについて意見交換を行った。

3) 議題(4) その他

その他の確認事項について意見交換を行った。

次回委員会に向けて、次の対応が望ましいとの意見があった。

- ・ 下水管の迂回後に、崩壊した箇所がどのような状態なのか確認したい
- ・ 委員会でなくとも、現地で「特別調査会」のような形で視察できる機会を設定すると良い

— 以上 —